

## 仕様

|             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 周波数範囲       | 2,400~2,483.5MHz            |
| 使用周波数       | 2,402~2,480MHz              |
| 変調方式        | GFSK                        |
| 空中線電力       | 10mW                        |
| 占有周波数       | 4MHz                        |
| イヤホンマイクコネクタ | Mini-XLR 4pin               |
| 使用電源        | 単三形乾電池2本(+3.0V DC)          |
| 電源使用範囲      | +2.4V~+3.0V                 |
| 消費電流        | 100mA                       |
| 保存温度        | -10°C~+60°C                 |
| 動作温度        | 0°C~+50°C                   |
| 外形寸法        | 64.3(W)×90(H)×21(D)(突起物含まず) |
| 質量(乾電池含む)   | 80g(電池含まず)                  |
| 付属品         | アンテナ                        |

# AZD-201TR

## 2.4GHz デジタル ワイヤレス ガイドシステム送信機/インターカムシステム

## 取扱説明書

このたびはアツデンの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

### 特長

- ◆2.4GHz帯のデジタルデータ通信でデジタル音質のクリアな会話見通し距離は直線で20~50mをカバー
- ◆傍受なし・混信なしで安心快適受信
- ◆海外でも使用可能なISMバンドを使用。海外出張にも持ち出せます
- ◆超軽量コンパクト設計。受信機はIDカード感覚で持ててストレスフリー
- ◆10チャンネル対応

| 保証書                               |                      |
|-----------------------------------|----------------------|
| 本書は下記の保証規定により、無料修理を行なう事をお約束するものです |                      |
| 機種名                               | AZD-201TR            |
| お客様                               | 〒 _____<br>ご住所       |
|                                   | _____ e-mail         |
|                                   | お名前                  |
| 保証期間                              | _____ヶ月              |
| 取扱販売店                             | 住 所                  |
|                                   | 店 名                  |
| お買い上げ日                            | _____年 _____月 _____日 |

### 保証規定

保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理致します。

次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。

- ① 水害、落雷、異常電圧その他天災地変による故障
- ② お買い上げ後の輸送、落下等による事故および損傷
- ③ 本保証書のご提示がない場合
- ④ 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合は、修理をお引き受けできません

不当な修理および改造をした場合は、修理をお引き受けできません。

修理品の送料に関しては、本保証に含まれておりませんので予めご了承下さい。



### 安全上のご注意

必ずお守り下さい

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 警告** この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 危険** この表示の欄は「違法行為となる」内容です。
- 注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)
- この様な絵表示は、気をつけて頂きたい「注意喚起」内容です。
- この様な絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- この様な絵表示は、必ず実行して頂きたい「強制」内容です。

### 注意

指定以外の電池は使用しないで下さい。また、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

異常に温度が高くなる所に置かないで下さい。  
・機器表面や部品が劣化するほか故障の原因になることがあります。  
・ストーブなど暖房器具の近くに置かないで下さい。

雨や水滴などがかかる場所に設置、保管しないで下さい。  
・機器表面や部品が劣化するほか故障の原因になることがあります。  
・水や異物が入ると火災や感電の原因になります。

電池を機器内に挿入場合は、極性表示(プラス【+】とマイナス【-】の向き)に注意し、機器に有る表示通りに入れて下さい。間違いますと電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しないときは、電池を取り出して置いて下さい。電池から液が漏れて、火災・けが・周囲を汚損する原因となることがあります。もし、液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れて下さい。また、万一、漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流して下さい。

**ワイヤレス機器について**

本製品は2.4GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電気機器・IT・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、およびアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1.ご使用前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。  
 2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかにトランスミッターの電源を切ってください。そのうえでお客様相談窓口(→裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。  
 3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社お客様相談窓口(→裏表紙)までお問い合わせください。

●本製品は日本国内でのみご使用いただけます。  
 ●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として工事設計認証を受けております。無線局の免許は必要ありません。  
 ●以下の行為は、法律で禁じられています。  
 ー分解や改造を行う  
 ー本体に貼付の工事設計認証ラベル(マークを含むラベル)をはがす  
 ●本体の表示について  
 この無線機が2.4GHz帯を使用し、変調方式はその他の方式、与干渉距離が80m以内、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可を表わします。

**2.4 XX8**

使用上の注意  
 ●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。  
 ●本製品の近くに発信機(携帯電話など)があるとノイズが入る場合がありますので離してご使用ください。  
 ●汚れたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

本体について  
 ●ほかの機器との影響  
 Bluetooth搭載機器、無線LAN・Wi-Fiを使用する機器、デジタルコードレス電話、電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声が入りやすくなります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉し合う機器同士は離して設置してください。  
 ●使用可能範囲  
 トランスミッターから約30mの範囲でご使用いただけますが、トランスミッターとレシーバーの間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。

## 外観図



## 各部の名称



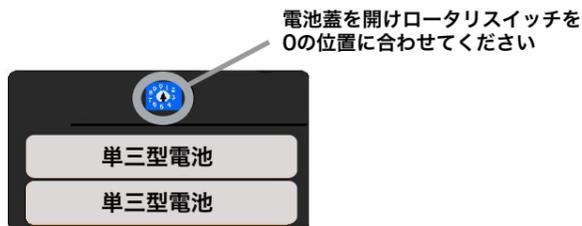
電源SW/音量調整は左端に切った状態が電源OFF  
 右に少し回し「カチッ」と音がしたら電源SWがONになります

イヤホンマイクのピン配置

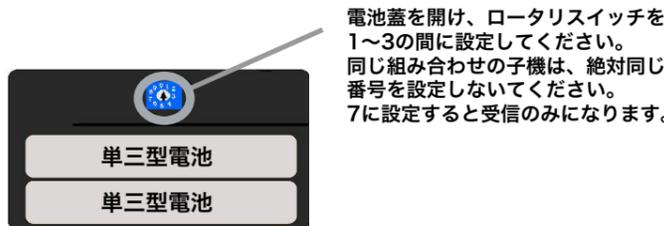
| ピン番号 | 接続先          |
|------|--------------|
| 1    | マイク (プラス)    |
| 2    | イヤホン (グラウンド) |
| 3    | イヤホン (プラス)   |
| 4    | マイク (グラウンド)  |

## 移動用デジタルワイヤレスインターカムシステムの設定方法

### 親機(モバイルマスター)設定方法



### 子機(スレーブ)設定方法



## デジタルワイヤレスガイドシステム送信機の設定方法

電池蓋を開け、ロータリスイッチを回し「F」に設定します。  
 チャンネルを変更する事で、最大10グループ設定することができます。



お買い上げ頂きました商品をガイドシステムとして使用する場合、同じ組という認証を得るために、送信機と受信機のチャンネルを合わせます。

### ■グループ (チャンネル) の確認方法

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ch0 : 送信機LED点滅なし | ch5 : 送信機LED点滅5回 |
| ch1 : 送信機LED点滅1回 | ch6 : 送信機LED点滅6回 |
| ch2 : 送信機LED点滅2回 | ch7 : 送信機LED点滅7回 |
| ch3 : 送信機LED点滅3回 | ch8 : 送信機LED点滅8回 |
| ch4 : 送信機LED点滅4回 | ch9 : 送信機LED点滅9回 |

### ■設定例

送信機2台を別グループで使用する場合、隣ではなくなるべく離れたグループ(チャンネル)番号を設定してください。

例) 「0」と「1」→「0」と「4」に変更 (隣のグループのため)

### ■注意

送信機は必ず別の番号を設定してください。  
 同じ番号が2個以上存在すると、通話ができなくなります。

## 操作方法

送信機のロータリスイッチ設定が正しいのをご確認の上、電池とヘッドホンマイクを接続し、電源スイッチをONにしてください。  
 出荷時はデフォルトIDを設定済みのためペアリング作業は不要です。  
 送信機の電源スイッチをONにすると、ヘッドホンマイクについているスイッチはON状態(送信機のLEDは赤)になります。  
 インターカムシステムの場合の子機のみ、スイッチを押すとマイクOFF(送信機LED:緑点滅)に切り替わります。

## チャンネル変更方法

WLANなどの他社2.4GHz機器と干渉が生じた場合や同じ場所で複数グループを使用する場合、チャンネル変更を行ってください。

- 送信機側面のSETボタンを一回軽く押すと、チャンネルが一つ上がります。
- チャンネル変更後、一旦電源を切り、再度電源をONにするとLEDが点滅します。点滅回数が現在のチャンネル番号を表しています。
- 受信機のチャンネルを送信機のチャンネルに合わせます。

## 電池残量

ヘッドホンから警報音が聞こえる場合、電池の交換(充電)を速やかに行ってください。  
 単三電池2本使用で約15時間使用することができます。

## 操作方法

### 親機(モバイルマスター)



### 子機(スレーブ)



押す

お買い上げ頂きましたインターカムシステムと別途ベースステーションを、同じ組の組み合わせで使用頂く場合、同じ組という認証を得るために、最初に下記セッティングをお願いいたします。(別の組み合わせで使用する以外は再度行う必要はございません)

### 1. セット(ペアリング)モード

ベースステーション(マスター)1台 : 子機(スレーブ)N台として使う場合

- ベースステーションのOPTIONボタンを長押しするとLEDが点滅するので、子機(スレーブ)のSETボタンを押します。
- ベースステーションと子機のLEDが点灯状態になれば、ペアリング完了です。
- 同様に、他の子機(スレーブ)も①の作業を行ってください。
- 本機は、最大親機(マスター)1台、子機3台の合計4台が、同時双方向通話が可能となります。4台目以降はリスニングオンリーとして使うことができます。

### 2. 通話方法

- 親機(マスター)、子機(スレーブ)の電源スイッチを入れ、子機(スレーブ)の点滅が終了し点灯状態になれば、通話が可能となります。お好みのヘッドセットをつなぎ、適当な音量までボリュームを上げ聞きやすい状態で会話を行ってください。終了後は各機の電源を切ってください。

## セット (ペアリング)とは

子機(スレーブ)は、工場出荷時、セット(ペアリング)に使われるID番号が書き込まれていますので、ペアリングの必要はありません。尚、同じ場所で複数グループを使用する場合、別途ベースステーション(マスター)とペアリングする必要があります。

購入後の作業はセット(ペアリング)作業からはじまります。セット(ペアリング)動作後、ID認証番号を受け取った子機(スレーブ)のみが通信が可能になります。

子機(スレーブ)は、一度セット(ペアリング)を行ったあとは、電源投入直後、自分の持つIDと同じ番号を持つベースステーション(マスター)を見つけるまで、以下の周波数(チャンネル)を自動スキャンします。見つかるまで、以下の周波数(チャンネル)を自動スキャンします。仮に、ベースステーション(マスター)が何らかの理由で強制的にチャンネル変更をされると、子機(スレーブ)は自分の持つID番号を探すために以下の周波数(チャンネル)を自動スキャンします。